愛知県がんセンター特定看護師活動紹介

愛知県がんセンター　看護部

当院では**特定看護師**が

特定行為を実施しています。

活動のスローガン

「最良のがん医療をタイムリーに
より質の高いチーム医療を推進」

院内に4名在籍（手術室とICUに在籍）

ワッペンを付けた看護師が目印です

特定行為とは

保健師助産師看護師法

看護師とは「**療養上の世話**」「**診療の補助**」を業とする

特定行為は、

診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合、

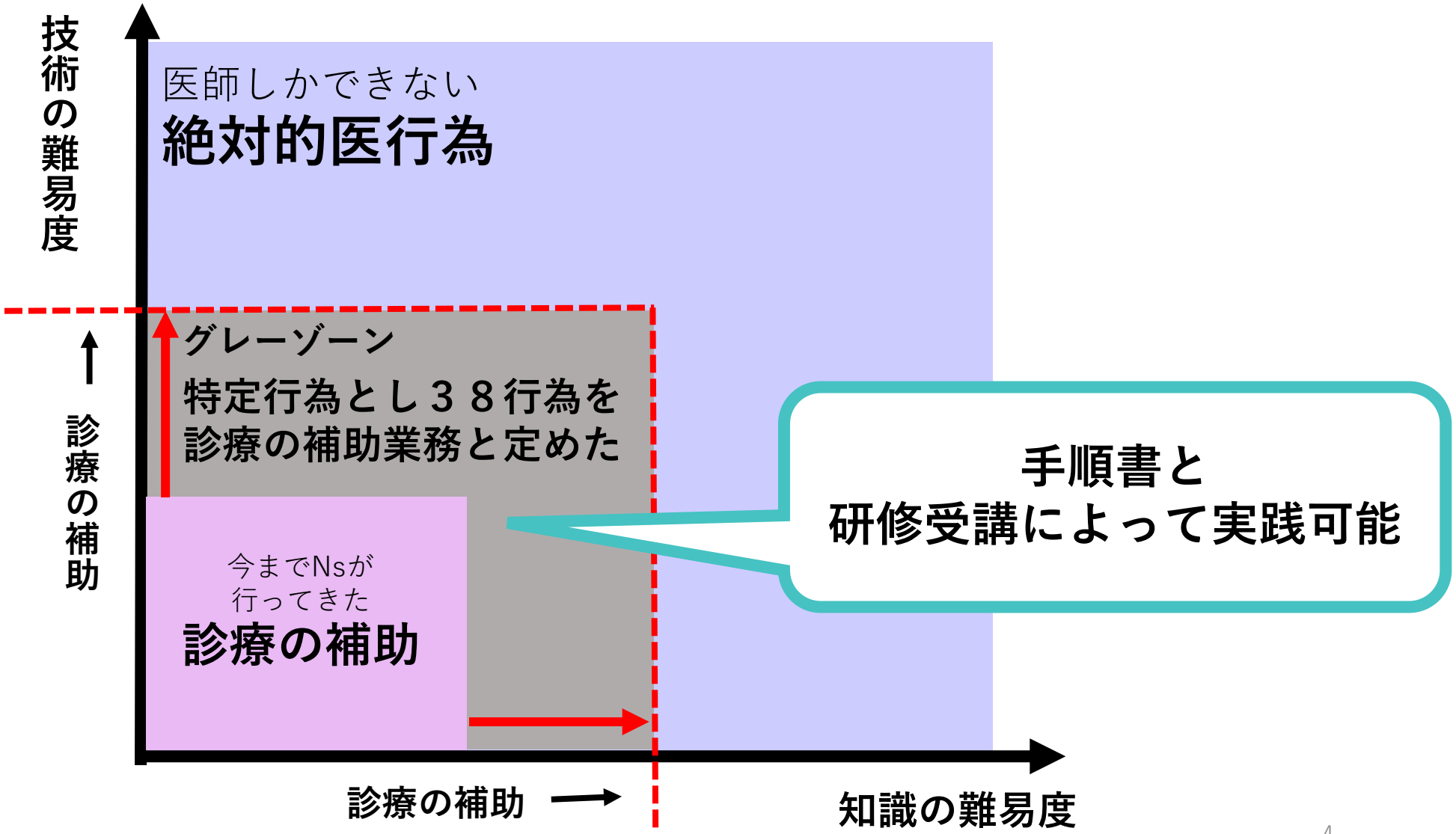
実践的な理解力、思考力及び判断力

並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要

とされる全３８行為

厚生労働省「看護師の特定行為に係る研修機関拡充支援事業」より抜粋
https://portal.tokutei-nurse-council.or.jp/about/koui.html

特定行為のイメージ


技術の難易度
医師しかできない
絶対的医行為
グレーゾーン
特定行為とし３８行為を
診療の補助業務と定めた
診療の補助
今までNsが
行ってきた
診療の補助
手順書と
研修受講によって実践可能
診療の補助
知識の難易度

当院における特定看護師活用ビジョン

医療実践

患者さんのニーズを的確に判断し、
タイムリーな特定行為と**安全で質の高い医療・看護を提供**する

育成

看護実践を通して臨床判断ができる看護師を育成する

業務改善

協働する医師のタスクシェアを行い、円滑な業務を推進する

職種間連携

多職種が連携した**チーム医療を推進するキーパーソンとなる**

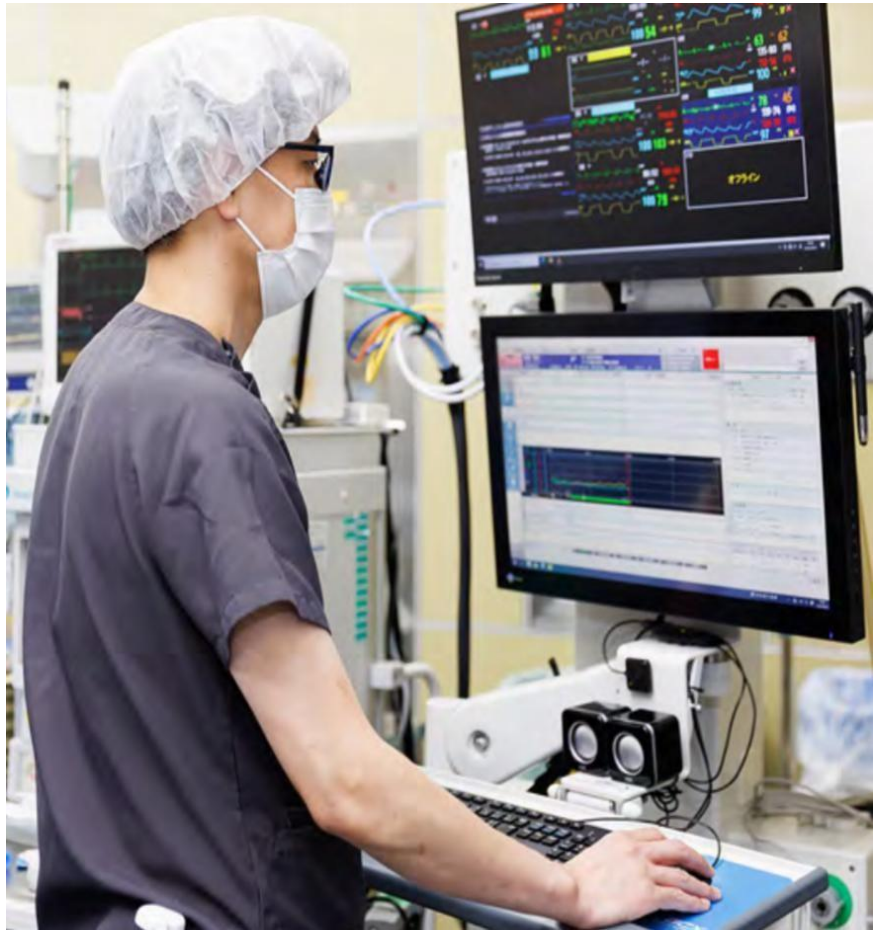
看護師が特定行為を行う意義と成果（一例）

時間	～ 6	7	8	9	10	11	12	13
患者さんの状態	人工呼吸器管理中		痛み出現　呼吸回数増加 覚醒遅延			痛み緩和　呼吸状態安定		
医師	離脱可能	鎮静剤OFF	設定変更	離脱断念	手術が落ち着いたら途中で来ます	離脱		
医師予定				9時～手術				
特定行為研修修了看護師				手順書を用いて看護師主導で実践 方針協議　鎮静剤OFF　疼痛コントロール　覚醒状況に合わせ設定変更　離脱判断		離脱		
期待できる成果			医師手術に集中 負担の軽減	患者の状態に合わせたタイムリーな対応		不要な人工呼吸器装着期間短縮		

すべてが患者さん中心での計画は困難
医師の予定も加味して離脱を計画
せざるを得ない

看護師だから一連の看護ケアの中で
患者さんのタイミングに合わせ
継続して支援できる

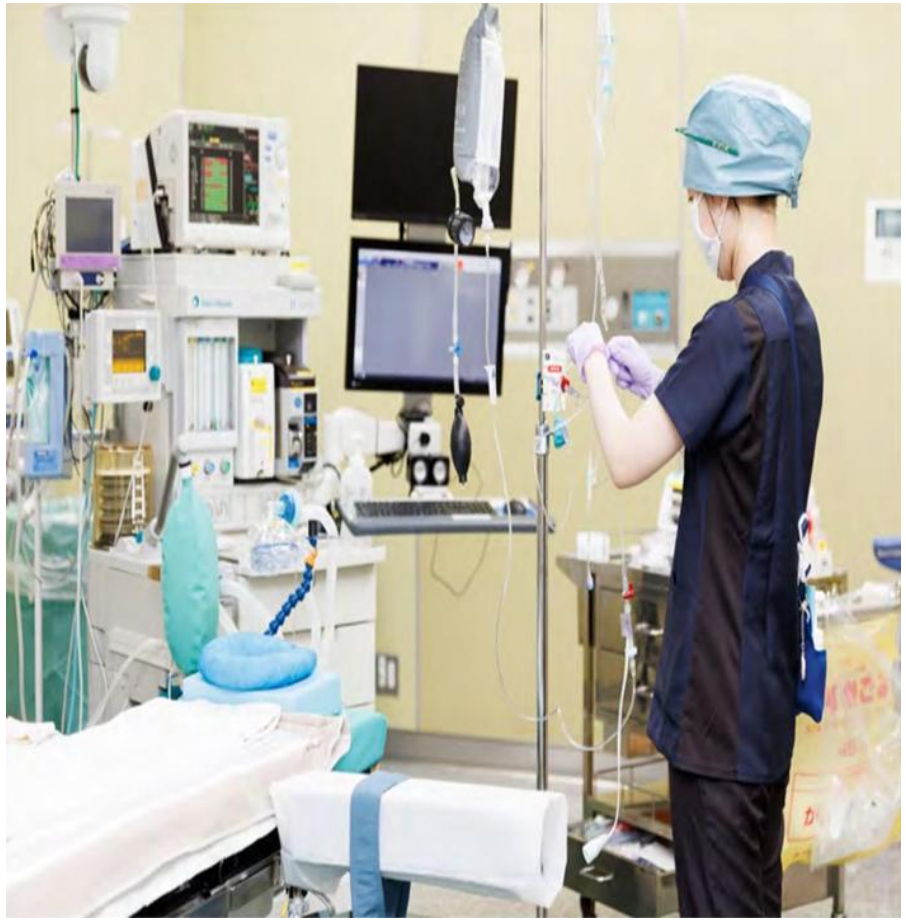
何をしているの？（手術室在籍看護師編）



手術中の麻酔補助
動脈血液検査
ドレーン抜去　　など…

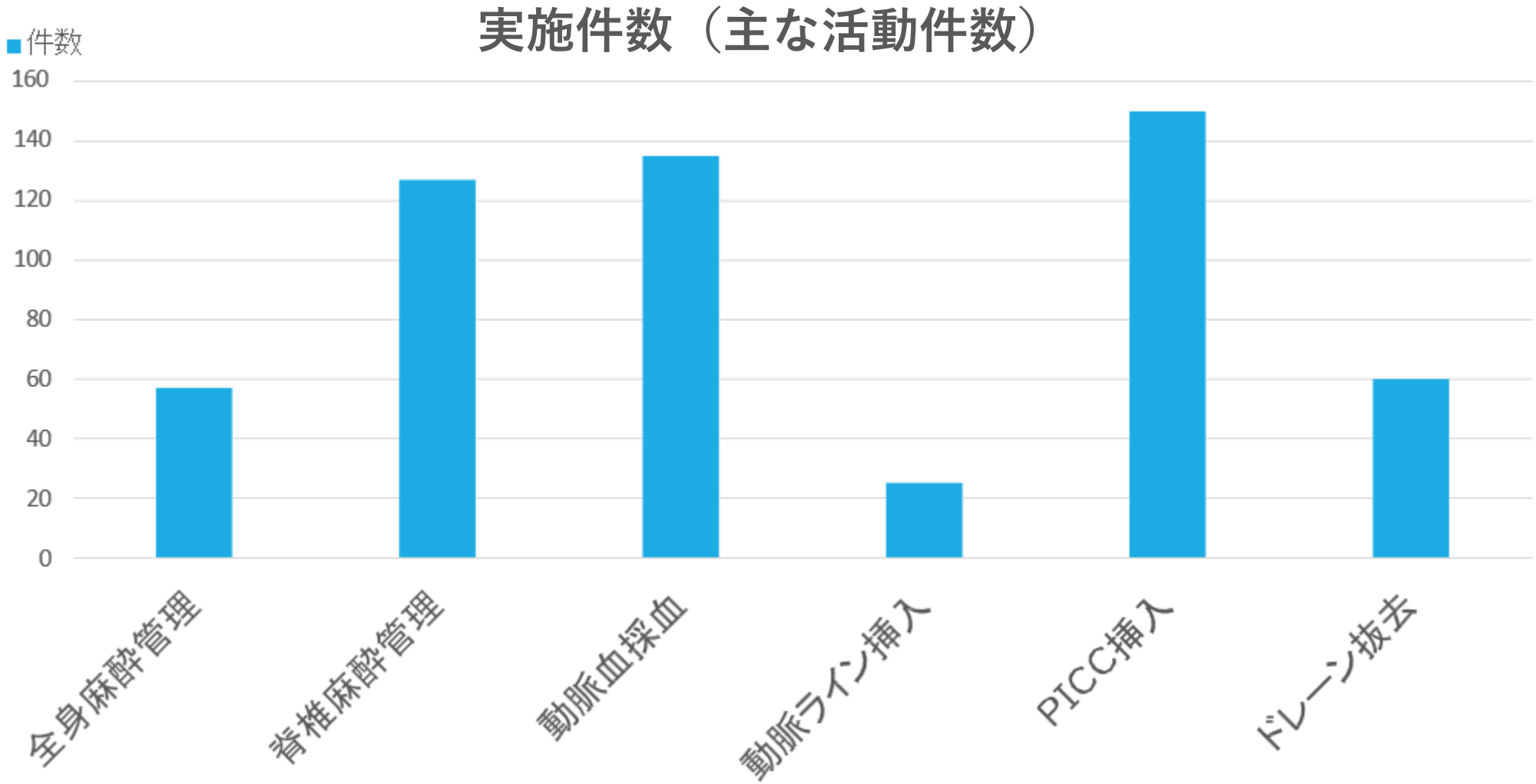
医師と協力して
安全に行っています

どこで活動しているの？



主に**手術室**で働いています
動脈血液採血検査や
ドレーン抜去など
術前から術後まで
外来～手術室～病棟と
患者さんが必要とする場所
まで行き活動しています

手術室在籍看護師昨年度の実績（R6年度）



手術中麻酔管理って？どんなメリットがあるの？

手術中は、血圧や脈拍数が大きく変化します

そこで

様々なモニターや手術している場面を確認

状況に応じ薬剤の準備や調整などを行います

補助役がいることで

・変化に早く気づきます

・薬剤の準備や投与まで対応が早い

➡すばやく対応できることで安全な手術医療を提供できます

何をしているの？（ICU在籍看護師編）

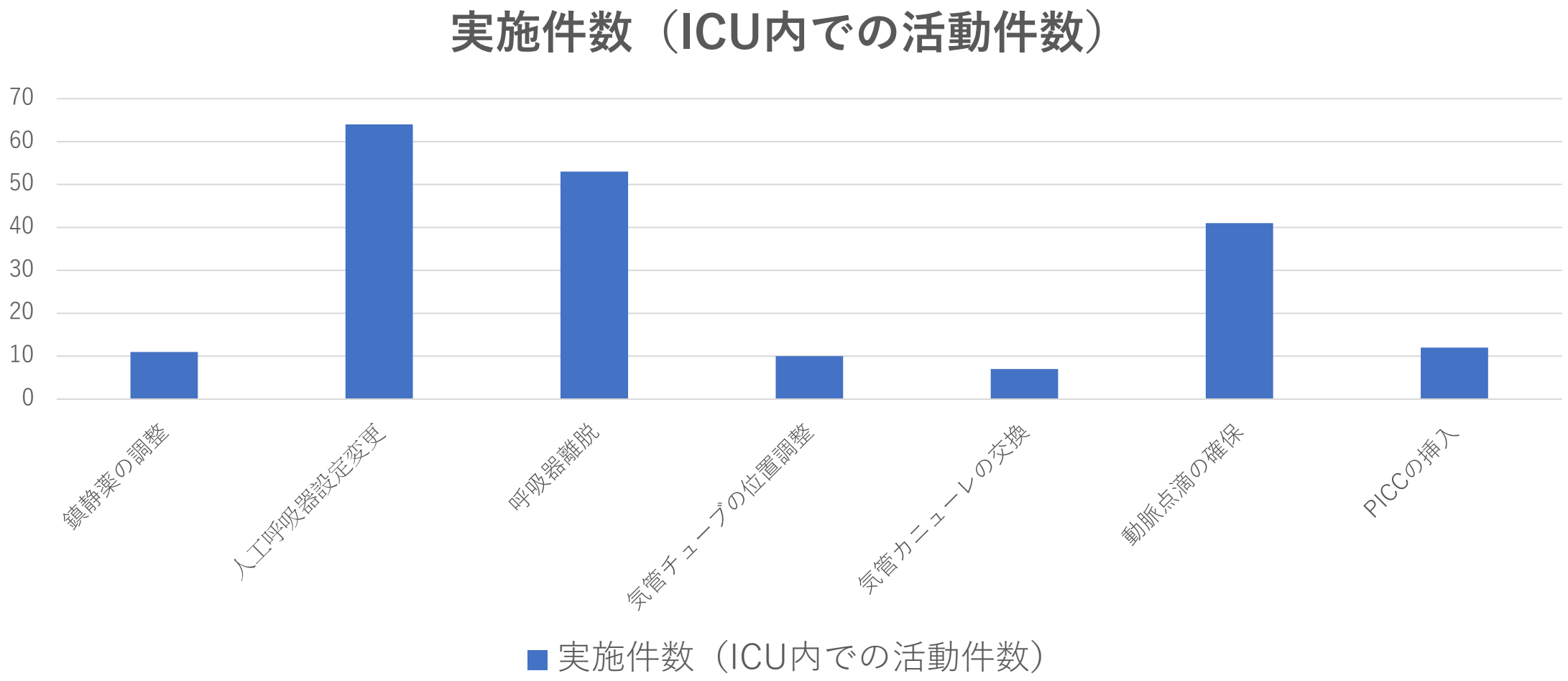
鎮静薬投与量の変更

患者さんの状態に合わせた人工呼吸器の設定変更や、
人工呼吸器を外す行為

動脈血液検査、橈骨動脈点滴の確保

中心静脈カテーテルの挿入（PICC）など

ICU在籍看護師昨年度の実績（R6年度）



動脈点滴の確保って？　どんなメリットがあるの？

文字通り動脈点滴の確保とは「動脈」に点滴を確保します

　動脈点滴では血圧を持続的に測定でき、循環の状態が観察できます

また、

　動脈の血液を採血することができ、呼吸の検査が可能になります

看護師が確保することで

循環、呼吸といった命に係わる重要な状態を

・医師がその場にいなくとも確認が可能

・その間医師にしかできない業務に集中ができる

➡迅速かつ効率的な医療を提供できます

特定看護師として大切にしていること

患者さんFirst

安全な医療の提供がとても大切

医師としっかり協議を行ったうえで、特定行為を実践しています。

また、

看護師としての高い専門性をもち
患者さんの状況に応じた医療の提供に努めています。

多職種と協働し患者さんへ

安全かつタイムリーな医療 を提供いたします